

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

121  
☒ at [アット]

- 前 ～に、～時に【時の一点を表す】  
 ～で、～に【比較的せまい場所を表す】  
 ☆ 上記以外にもさまざまな用法がある。

☆ 時刻・時の一点を表す語の前に使う。

at six (o'clock) 『6時に』  
 at twelve thirty 『12時30分に』  
 at noon 『正午に』 / at night 『夜に』  
 at that time = then 『そのとき』  
 at once 『すぐに』 (= soon)  
 at first 『はじめは』  
 ⇔ at last 『ついに、とうとう』

☆ at, on, in について → プリント教材の  
 【前置詞 at, on, it の使い分け】 参照のこと

look **at** ~ 『～を見る』 / **at** the bus stop 『(その)バス停で』  
**at** the second **corner** [traffic light] 『2番目の角[交通信号]で』  
 be **at** home 『家にいる』 / be **at** school 『学校(で勉強中)で』  
 be surprised **at** ~ 『～に驚く』 / not ~ **at** all 『まったく～ない』

I got up **at** six (o'clock) this morning.  
 『私は今朝6時に起きました。』

Look **at** this picture. 『この絵を見て。』

Change trains **at** Shibuya. 『渋谷で電車を乗り換えなさい。』  
 ※ 乗り換えなどの通過点を表すときは **at** を使う。

Turn left **at** the second corner.  
 『2番目の角を左に曲がりなさい。』

I was surprised **at** the news.  
 『私はその知らせに驚きました。』

122  
☒ like [ライク]

- 動 ～が好き、～を好む  
 前 ～のような、～のように

活用 : liked [ライクト]  
 - liked - liking

※ 進行形ではふつう使わない。

3単現形 : likes [ライクス]

like to ~ 【不定詞】  
 = like ~ing 【動名詞】  
 『～するのが好き。』  
 would like to ~  
 『～したい』  
 ※ want to ~ よりも  
 ていねいな表現

look like ~ ※ ~には名詞を使う。  
 『～のように見える。～に似ている』  
 sound like ~ 『～のように聞こえる』

※ look like ~ は目で見たものや見たこと  
 について、sound like ~ は耳で聞いたこと  
 に対しての感想や考えをあらわす。

I like apples [dogs]. 『私はりんご[犬]が好きです。』

※ 『りんご』、『犬』などのように、種類全体の集合体を指すときは  
 複数形にする。(ある特定の種類を指すときは the ~ などとなる)

He likes Meg very much. = He loves Meg. 『彼はメグが大好きです。』

I like to swim. = I like swimming. 『私は泳ぐのが好きです。』

Which do you like better, summer or winter?  
 『あなたは夏と冬ではどちらが好きですか?』

→ I like summer better (than winter). 『私は(冬より)夏が好きです。』

I would like to talk with you. 『私はあなたと話したい。』  
 → 【単語帳 No. 612 ... would】

How do you like Japan? 『日本はいかがですか?』

I want to be [become] a teacher like you.  
 『私はあなたのような先生になりたい。』

It looks like rain. 『雨になりそうです[か]降りそうです。』

Emi looks like her mother. 『エミは彼女の母に似ている。』

That sounds like fun. 『それは楽しそうです』

※ look, sound の後ろに形容詞を使うときには、前置詞の like は  
 不要になり、look 形容詞 / sound 形容詞 の形になる。

123  
☒ school [スクール]

- 名 学校、校舎  
 授業 (= class)

go to school 『学校へ行く』  
 a junior high school  
 『中学校』  
 after school 『放課後』

I go to school by bike. 『私は自転車で学校に行きます。』

※ 生徒が、(本来の目的である) 授業を受けるために『学校へ行く』ときには、  
 a, the などの冠詞をつけない。

ただし、建物としての学校をあらわすとき、勉強以外の目的で学校へ行く  
 ときには、冠詞をつける。

Ken is a junior high school student. 『ケンは(1人の)中学生です。』

We play baseball after school. 『私たちは放課後野球をします。』

Where is your school? 『あなたの学校はどこにありますか?』

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

124  
☒ of [アヴ/オヴ]

副 前の

～の  
～のなか[うち]で【最上級の文などで】

※ 「テーブルの脚」、「あの部屋の窓」など、  
《～の 名詞》というときは the leg  
of the table, the window of that  
room というように《 a [the] 名詞  
of ~ 》の形になる。

「メグの手」、「犬の脚」など《人[動物]  
の 名詞》というときは Meg's hand,  
a dog's leg のように《 ~'s 名詞 》  
の形になる。

※ ただし、どちらにでも使える表現も  
ある。また today's paper 「今日の  
新聞」のような例外的な表現もある。

one of ~s 『～のひとつ[1人]』  
→【単語帳 No. 41 … one】

of course 『もちろん』  
→【単語帳 No. 963 … course】

be made of ~  
『～でできている、～から作られる』

This desk is made of wood.  
『この机は木製です。』

※ wood [ウッド]「木材、材木」

☆ 原材料の形が残っているときは of を、  
形が残っていないときは from を使う。  
→【単語帳 No. 19 … from】  
【単語帳 No. 172 … make】

a picture of my family 『私の家族の(1枚の)写真』

a friend of mine 『私の一友人』

※ a と my を前後していっしょには使うことができない。そのため  
「私のひとりの友達」という言い方は、a friend of mine とするか  
単に my friend とする。(my friend だと、複数形の s がついて  
いないので、a がなくても1人であることがわかる。)

a cup of coffee 『カップ1杯のコーヒー』

a teacher of English (= an English teacher) 『英語の先生』

※ an English teacher は、English を強く読むと「英語の先生」の  
意味で、teacher を強く読むと「イギリス人の先生」の意味になる。

This is a picture of my family. 『これは私の家族の写真です。』

I'm a member of the tennis club. 『私はテニス部の一員です。』

How about a cup of tea? 『紅茶を1杯いかがですか?』

Most of the students in our school have a bike.  
『私たちの学校のほとんどの生徒が自転車を持っています。』

Kyoto is one of the oldest cities in Japan.  
『京都は日本で最も古い都市のひとつです。』

Tom is the tallest of all [the five (students)].  
『トムは全員の中で[5人の(生徒のうちで)]1番背が高い。』

※ 最上級の文の「～のなかで、～のうちで」には of または in を使う。  
of は《 of + 複数内容》の形で使う。単数名詞が後ろにくる場合は  
《 in + 単数名詞》の形になる。(例. in Japan, in my class など)

It's kind [nice] of you to help me.  
(→『私を手伝ってくれるとはあなたは親切です。』)  
→『私を手伝ってくれてありがとう。』

※ It ~ for [人] to … の文型で、～の部分に、人の性質を表す語が  
くるときには for ではなく of を使う。

125  
☒ him [ヒム]

代 彼を、彼に (⇔ her)

※ he の目的格  
→【代名詞表(13ページ)】参照

I helped him yesterday. 『私は昨日彼を手伝いました。』

Meg wants to go shopping with him.  
『メグは彼といっしょに買い物に行きたがっています。』

Give him this book. 『彼にこの本を渡しなさい。』  
= Give this book to him. ※ 上は第4文型、下は第3文型の文。

We call him Kazu. 『私たちは彼をカズと呼びます。』

126  
☒ up [アップ] (⇔ down)

副 上へ、立って、起きて、終わって

副 前の

stand up 『立ち上がる』

get up 『起きる』

wake up 『目を覚ます』

grow up 『成長する』

→【No. 766 … grow】

up to ~ 『～次第で』

Stand up. 『立ちなさい。』 (⇔ Sit down. 『座りなさい。』)

Get up! 『起きなさい。』 / Wake up! 『目を覚ましなさい。』

Time is up. 『もう時間です。 / 時間切れです。』

What's up? 『どうしたの? 調子はどう?』

It's up to you. 『それはあなた次第です。』

Tom climbed up that tall tree. 『トムはあの高い木に登りました。』

The boy ran up the stairs. 『その少年はその階段を駆け上がりました。』

※ stair(s) [ステア(ズ)]「(屋内の)階段」 / 屋外の階段は step(s) →【No. 1026】

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

127

☒ SO [ソウ] 発音注意副 そんなに、とても、そう  
それほど、そのように

接 それで、だから

so ~ that ...  
『とても～なので…』not so ~ as ...  
= not as ~ as ...  
『…ほど～ではない』

So long. 『さようなら。』

So so. = So-so.  
『まあまあです。』

~, and so on 『～など』

so to speak 『いわば』

so far 『今のところは』

※ 女性や子供は、very のかわりに  
so を使うことが多い。He can run **so** fast. 『彼はとても速く走ることができます。』Thank you **so** [very] much. 『どうもありがとう。』I think **so**. 『私はそう思います。』 / I hope **so**. 『そうだといいな。』Is that **so**? 『そうなんですか?』Emi is **so** kind that everyone likes her.  
『エミはとても親切なので、みんなが彼女を好きです。』He was **so** old that he couldn't run.  
『彼はとても年をとっていたので、走ることができなかった。』= He was too old to run. 『彼は年をとりすぎていて走れなかった。』  
※ too ~ to ... 「～すぎて…できない」I was very tired, **so** I went to bed early.  
『私はとても疲れていた。それで早く寝ました。』

※ so の前にはコンマ(,)が必要。so のあとには「結果」が来る。

= Because I was very tired, I went to bed early.  
『私はとても疲れていたので、早く寝ました。』※ so 「それで、だから」の文は because の文と書き換えができる。  
→ ダントツ英文法【接続詞…because の使い方】参照のこと。

128

☒ mine [マイン]

代 私のもの

※ I の所有代名詞  
→ 【代名詞表(13ページ)】参照☆ 所有代名詞はふつう  
所有格+名詞に書き換える  
ことができる。**mine** = my + 名詞(s)※ 名詞が複数形の場合は  
複数形のsを忘れずに!This pencil is **mine** (= my pencil). 『この鉛筆は私のものです。』Meg is a friend of **mine**. 『メグは私の(いち)友人です。』

※ a と my を前後して一緒には使えない。→ ダントツ英文法【冠詞】参照。

Is this your notebook? 『これはあなたのノートですか?』

→ Yes, it's **mine** (= my notebook). 『はい、それは私のものです。』

Whose books are these? 『これらはだれの本ですか?』

→ They are **mine** (= my books). 『それらは私のものです。』That bag is newer than **mine** (= my bag).

『あのバッグは私の(もの)より新しい。』

129

☒ notebook [ノウトブック]

名 ノート、手帳 発音注意※ 日本人はよく「ノート」と言うが、  
英単語の note [発音: ノウト] は  
「メモ、覚え書き、短い手紙」。This is my **notebook**. 『これは私のノートです。』Those are not Emi's **notebooks**.  
『あれらはエミのノートではありません。』He lost his **notebook** yesterday.  
『彼は昨日ノートをなくしました。』I wrote his name in my **notebook**.  
『私は彼の名前をノートに書き留めた。』

130

☒ us [アス] 発音注意

代 私たちを、私たちに

※ we の目的格

☆ let's は let **us** の短縮形  
… let は本来『～させる』の  
意味。→ 【単語帳 No. 678】Come with **us**. 『私たちと一緒に来なさい。』That man doesn't know **us**. 『あの男性は私たちを知りません。』Please make dinner for **us**. 『私たちのために夕食を作ってください。』Ms. Kimura teaches **us** history [history to **us**].  
『木村先生は私たちに歴史を教えています。』  
※ «日常の習慣・反復» は現在形で表す。

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

131

☒ yours [ユアズ]

代 あなたのもの、あなたたちのもの  
 <<手紙の結びに使う>> 敬具

※ you の所有代名詞  
 → 【代名詞表(13ページ)】参照

所有代名詞 = 所有格 + 名詞

yours = your + 名詞(s)

Sincerely [スィン*ス*ィアリィ] yours,  
 = Yours sincerely, 『敬具』

※ ピリオドではなくコンマを使う。

I forgot my pen. Can I borrow **yours** (= your pen)?

『私はペンを忘れました。あなたのを借りてもいいですか?』

※ forgot ... forget の過去形 → 【単語帳 No. 663】

※ borrow → 【単語帳 No. 647】

Which book is **yours** (= your book)?

『どっちの本があなたのですか?』

→ The red book is mine. 『(その)赤い本が私のです。』

My camera is old, but **yours** (= your camera) is new.

『私のカメラは古いけど、あなたのは新しい。』

※ **yours** の訳し方には「あなたのもの」と「あなたたちのもの」の  
 どちらの可能性もあるが、ふつうは文脈や状況で判断できる。

132

☒ English [イギリスシ]

名 英語

アクセント注意

【an をつけず、複数形にもしない】

形 英語の、イギリス(人)の

※ 人名や地名、国名や国の言葉など  
 ひとつしかないもの(固有名詞)は  
 文中でも最初の文字は必ず大文字。

I like **English**. 『私は英語が好きです。』

Do you speak **English**? 『あなたは英語を話しますか?』

Speak (in) **English**. 『英語を(で)話さない。』 ※ どちらもほぼ同意。

Mr. Tanaka is a teacher of **English** [an **English** teacher].

『田中先生は英語の先生です。』

※ an **English** teacher ... **English** を強く読むと「英語の先生」、  
 teacher を強く読むと「イギリス人の先生」の意味になる。

→ 【単語帳 No. 154 ... teacher】

133

☒ Japanese [ヂェパニーズ]

アクセント注意

名 日本語【a をつけず、複数形にもしない】

日本人【単複同形...複数形でもs をつけない】

形 日本の、日本人の、日本語の

a **Japanese** 『1人の日本人』  
 two **Japanese** 『2人の日本人』  
 ※ 2人以上でも複数形のsをつけない。

**Japanese** culture 『日本の文化』

**Japanese** paper 『和紙』

※ Chinese (中国人), fish (魚), sheep (羊)  
 なども単複同形の名詞である。

Do you speak **Japanese**?

『あなたは日本語を話しますか?』

I'm a **Japanese**. 『私は日本人です。』

= I'm **Japanese**. 【← 下の表現のほうが一般的】

※ 上の **Japanese** は名詞、下の **Japanese** は形容詞。

The **Japanese** eat rice. 『日本人は米を食べる。』

※ この the **Japanese** は「日本人(全体)」をあらわしている。

Many **Japanese** people like *sumo*.

『多くの日本の人々は相撲が好きです。』

Do you like **Japanese** food?

『あなたは日本食が好きですか?』

134

☒ hers [ハーズ]

代 彼女のもの

※ she の所有代名詞

→ 【代名詞表(13ページ)】参照

☆ 所有代名詞 = 所有格 + 名詞

hers = her + 名詞(s)

Is this camera **hers** (= her camera)?

『このカメラは彼女のものですか?』

Ken is a friend of **hers**. 『ケン是她女の一友人です。』

Whose desk is this? 『これはだれの机ですか?』

→ It's **hers** (= her desk). 『それは彼女のものです。』

My bag is bigger than **hers** (= her bag).

『私のバッグは彼女のよりも大きい。』

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

135

☒ go [ゴウ] 発音注意

動 行く (⇔ come)

活用 : went [ウエント]

- gone [ゴーン] - going

3単現形 : goes [ゴウス]

I **go** to school by bus. 『私はバスで学校へ行きます。』She usually **goes** to bed at ten. 『彼女はたいてい10時に寝ます。』Let's **go** (back) home. 『帰宅しましょう。』 ※ back は省略可。

※ home は副詞なので直前に to は必要ない。→【単語帳 No. 321 … home】

He will **go** out this afternoon. 『彼は今日の午後外出するでしょう。』**Go** away! 『あっちへ行って。』

**go** to school 『学校へ行く』 ※ the 不要 ↓  
**go** to bed 『寝る』 ※ the 不要 →【No. 10】  
**go** back (to ~) 『(~へ)帰る、戻る』  
**go** out 『外出する』 / **go** away 『立ち去る』  
**go** by 『(時が)過ぎる』  
**go** along ~ 『~に沿って行く』【道案内で使う】  
**go** down ~ 『~を通って行く』【道案内で使う】

**go** in ~ 『~へ入る』 / **go** into ~ 『~の中へ入る』  
**go** on 『続く、進む』 / **go** on a picnic 『ピクニックに行く』  
to **go** 『持ち帰りで』 (⇔ for here 「ここで食べる」)  
※ For here or to go? → To go. のように使う。  
☆ **be going** to ~ 「~するつもり、~でしょう」 (= will)  
※ **be** は主語と時制に応じて使い分ける。  
→【単語帳 No. 586 … will】や、ダントツ英文法【未来形】参照

136

☒ come [カム]

動 来る、やって来る (⇔ go)

活用 : came [ケイム]

- come - coming

3単現形 : comes [カムズ]

**come** from ~ 『~出身です』  
**come** home 『帰宅する』  
**come** back (to ~)  
『(~へ)戻ってくる』  
**Come** on. 『さあ。/ 急いで』  
**come** in 『中へ入る』

☆ 『(そっちに)行きます。』は I'm **coming**.… **come** は相手の立場を考えて使う。「相手のほうへ」行く場合、聞き手の立場から考えると「来られる」ので、**go** ではなく、**come** を使う。

同様に、『(部屋の中に)入っても[行っても]いいですか?』と聞くときも

**go** は使わずに、May I **come** in? と言う。→【単語帳 No. 583 … may】She **comes** from China. 『彼女は中国出身です。』

= She is from China. →【単語帳 No. 19 … from】

He **came** home late. 『彼は遅く帰宅した。』 ※ **come** back home も同意。Meg will **come** back soon. 『メグはすぐに戻ってくるでしょう。』**Come** here, Tom. 『ここへ来なさい、トム。』How do you **come** to school? 『あなたはどのようにやって学校に来ますか?』  
【交通手段を聞く表現】

137

☒ good [グッド] (⇔ bad)

形 よい、おいしい、じょうずな、  
適している、有効な  
【比較変化】 good - better - best活用  
注意

→【No. 488 … better】【No. 498 … best】

問 よろしい、けっこう

**Good** morning. 『おはようございます。』  
**Good** afternoon. 『こんにちは。』  
**Good** evening. 『こんばんは。』  
**Good** night. 『おやすみなさい。』  
**Good** job. 『よくできたね。』  
**Good** luck. 『幸運を祈ります。』  
have a **good** time 『楽しいときをすごす』  
**be good** at ~ 『~が上手[得意]である。』  
**Good!** 『よろしい。けっこう。』

That's a **good** idea. 『それはよい考えです。』We are **good** friends. 『私たちは仲のよい友達です。』Be a **good** boy. 『いい子にきなさい。』Ken is a very **good** baseball player.

『ケンはとても上手な野球選手です。』

= Ken plays baseball very well. ※ 上の文とほぼ同意。

『ケンはとても上手に野球をします。』

Emi is **good** at swimming. 『エミは水泳が得意です。』= Emi is a **good** swimmer. ※ 上の文とほぼ同意。This cake is very **good**. 『このケーキはとてもおいしい。』Have a **good** time. 『楽しいときを。楽しんでね。』You look **good** in this jacket.

『あなたはこの上着が似合います。』

The ticket is **good** for three days.

『その切符は3日間有効です。』

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

138  
☒ **teach** [ティーチ]He **teaches** English at a high school.

『彼は高校で英語を教えています。』

※ &lt;日常の習慣・反復&gt; は現在形で表す。

動 ～を教える

活用 : taught [トート]

- taught - teaching

3単現形 : teaches [ティーチズ]

**teach** [人] [物]= **teach** [物] to [人]

『[人] に [物] を教える』

☆ tell とのちがいについて

→ 【単語帳 No. 381 … tell】

Meg **taught** me math. = Meg **taught** math to me.

『メグは私に数学を教えてくださいました。』

→ プリント教材の【第3文型と第4文型】

= I was **taught** math by Meg. < I を主語とした受け身(受動態)の文 >

『私はメグから数学を教えてくださいました。』

= Math was **taught** (to) me by Meg. < math を主語とした受け身の文 >

『数学はメグによって私に教えられました。』

My father **taught** me how to swim.

『私の父は私に泳ぎ方を教えてくださいました。』

139  
☒ **ours** [アウアズ]

発音注意

Ken is a friend of **ours**. 『ケン是我たちの一友人です。』Your school is older than **ours** (= our school).

『あなたの学校是我たちの(学校)より古い。』

代 私たちのもの

※ we の所有代名詞

同音語 : hours (… hour「時間」の複数形)

→ 【単語帳 No. 327 … hour】

Whose is that house? 『あの家はだれのものですか?』

→ It's **ours** (= our house). 『それは我たちの(家)です。』Your cars are white, and **ours** (= our cars) are black.

『あなたたちの車は白色で、我たちの(車)は黒色です。』

☆ 所有代名詞 = 所有格 + 名詞

**ours** = our + 名詞(s)140  
☒ **take** [テイク]

発音注意

① He **took** my hand. 『彼は私の手を取りました[つかみました]。』② I **took** a picture [pictures] of the sea.

『私は海の写真を撮りました。』

③ She **took** her dog to the park.

『彼女は(彼女の)犬を公園に連れて行きました。』

④ Let's **take** a bus [train]. 『バスに[電車に]乗りましょう。』⑤ How long does it **take** from here to the station?

『ここから駅までどのくらい(の時間)がかかりますか?』

→ It **takes** about fifteen minutes. 『約15分かかります。』⑥ I'll **take** [buy] this bag. 『私はこのバッグを買います。』⑦ **Take** this medicine. 『この薬を飲みなさい。』

活用 : took [トゥック]

- taken [テイクン] - taking

3単現形 : takes [テイクス]

《take を使った熟語・慣用句表現》 ※ 青色のものはとくに重要な表現。

**take** care of ~ 『~の世話をする、~の面倒をみる』Ken **takes** care of his dog every day. 『ケンは毎日彼の犬の世話をしています。』Please **take** care of yourself. 『(あなた自身の) お体を大切にしてください。』**Take** care. 『お大事に。気をつけて。』 / **Take** it easy. 『気楽にね。くよくよするな。じゃあね。』**take** off 『(服・靴など)を脱ぐ(⇔ put on)、(飛行機などが)離陸する』**take** out 『(食べ物などを)持ち帰る、~を取り出す、持ち出す』**take** part in ~ 『~に参加する (= join)』 / **take** place 『起こる (= happen)、おこなわれる』